

加速アクションプラン個票

①実施項目	17	使用料・手数料見直し事業	②No.23	実施状況 実施中			
③加速プラン事業名	使用料・手数料見直し事業						
④所管課	財務課						
⑤現状と課題	<p>【現状】使用料・手数料の見直しについては、「滝沢村使用料・手数料受益者負担適正化指針」に基づき、3年毎の定期的な見直しを行っている。平成14年度中にコスト計算を実施し、平成15年4月1日に第1回目の料金改定を行っているほか、平成17年度中にコスト計算を実施し、平成18年7月1日に第2回目の料金改定を行っている。併せて減免制度の見直しも進めている。</p> <p>【課題】使用料・手数料の見直しについては、平成20年度中にコスト計算を実施した。その結果、コスト計算方法等(算入方法、算入割合等)の検討が必要なほか、各公共施設毎の耐用年数、利用率等に応じた料金改定の在り方を含め、盛岡広域圏での手数料の在り方について歩調を合わせて見直しを進めていく必要がある。</p>						
⑥取組み内容	<p>①コスト計算方法等のベンチマーク、盛岡広域圏での使用料の見直し ②「滝沢村使用料・手数料受益者負担適正化指針」の一部改正 ③コスト計算の実施 ④コスト計算結果の取りまとめ及び料金改定の検討 ⑤使用料・手数料条例の一部改正 ⑥使用料・手数料の料金改定の実施</p> <p>●各公共施設使用料にかかる減免制度の見直し</p>						
⑦年度計画	H19	H20	H21	H22	H23	H24	
平成19年度から平成21年度までは集中取組期間です。	ベンチマーク	事前準備作業	事前準備作業	料金改定実施	ベンチマーク	事前準備作業	
	①	①～⑤	①～⑤	⑥	①	①～⑤	
	●減免見直し					▶	
計画値	単位(千円)	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
実績値	単位(千円)	2,000					
⑧目標	【計画値算式】使用料・手数料及び減免制度見直しによる歳入増(対平成18年度増加額) 使用料・手数料は、公共サービス等の対価として受益者に応分の負担を求めるものであり、税の公平性の確保、適正な受益者負担の見地からも受益者と一般住民との負担の不公平感を除く必要がある。また、財政健全化に向けた自主財源の拡大を進めていく必要があることから、自主財源の一端をなす使用料・手数料及び減免制度の見直しによる歳入増を目標とする。						
⑨効果	「滝沢村使用料・手数料受益者負担適正化指針」に基づき、3年毎の定期的な見直しや盛岡広域圏での比較・検証を行い、受益者負担の適正化を図ることにより、総合計画の政策に掲げる「戦略的な経営に向けた資源の確保と適正な資源配分」の実現が図られることを目指すものである。また、適正な負担割合に応じた料金設定を達成度において把握するものである。						
⑩達成度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	
	平成18年度見直し額により実施中	平成18年度見直し額により実施中	/	/	/	/	
⑪国集中改革プラン報告項目別全体計画	(対H16) ※当該加速プランが含まれる項目について表記						
【項目名】使用料手数料の見直し	H17	H18	H19	H20	H21	合計	
全体報告値	計画値	0	1,000	2,000	2,000	2,000	7,000
	実績値	0	2,000	3,000	3,000	3,000	11,000
	差額	0	1,000	1,000	1,000	1,000	4,000
単位:千円							